第7号

2016年12月17日

ならばい・たより



NPO法人まちだ結の里

- 9月からの活動、事象を時系列で記載していきます。
- 1)9月3日(土) 梅及び花桃の剪定、本谷戸山側の斜面の草刈り、落花生畑の草取り、 お茶の木周辺の草刈り・草取り、倒木の整理、セイタカアワダチソウ駆除







- 2) 9月7日 (水) 炭小屋前広場及びその周辺の草刈り 中央通路の草刈り、富士見台斜面上の通路の草刈り、落花生畑の上にカラス除けの糸張り
- 3) 9月10日(土) 中央通路の草刈り後の整理、本谷戸の山側の斜面の草刈り(穴狩り) イヌザクラ広場奥の草地の草刈り、ホームページ立ち上げ検討会(午後)、東谷戸の草刈り

4) 9月11日(日) 植物観察会







ノダケ

トウダイグサ

古代米の花







イネコウジ病の状態

ミズオオバコの花、周キクモ キクモの花

5)9月14日(水) 小山田中学校生徒職場体験(生徒5名&引率者1名) 炭焼窯前広場及びその周辺の草を集め堆肥置場への運搬、竹炭のカット&袋詰め







6) 9月17日(土) ソバ畑の草取り、精舎学園子供たち手伝いに来る

- 7) 9月21日 (水) イベント前の準備で午前中は機械で草刈り、通路の安全確認
- 8) 9月24日(土) 田んぼ奥のアシ原の草刈り、南通路、階段、モウソウチク林へのバイパスの草刈りを行う。







田んぼ奥の葦原

アキアカネ?と緑米の花

彼岸花と実った稲

9) 9月28日(土) 剪定した梅の枝・下草の整理・処分、ゴマの刈り取り、小麦用の畑作り







ニラの花

アキカラマツ

真ん中ツリフネソウの白い花

- 10) 10月1日(土)草刈り、東谷戸稲刈り準備、雨続きのため、田の水が抜けない状態 9月は雨が多く、順調だった稲の生育も遅れ気味になってきました。田の水が乾かないので、稲刈りが大変です。
- 11) 10月2日(日) 落花生掘りイベント

小山田緑地駐車場~池~運動広場(休憩10分)~見晴広場~池~駐車場~奈良ばい谷戸、緑地散策のガイドは 鶴岡さん興味深い説明あり。緑地散策は20名ほどだったので列が長すぎず後ろにいてもよく話が聞こえた。

- 12) 10月5日(水)落花生掘り、イヌザクラ広場上の通路上の斜面の篠竹の整理・処分、唐辛子の収穫稲こうじ病になった稲(みどり米)を処分、 落花生の収穫量(2日+5日)40KG+15KG = 約55KG稲刈りの準備
- 13) 10月8日(土)キラリ町田祭の準備、唐辛子飾り作成、プレゼント用竹炭の袋詰め作成、展示準備午後は、雨が強く降り続き解散
- 14) 10月12日(水)稲刈り準備、





15) 10月15日(土)稲刈り はざかけに使用したパイプ本数:56本(竹の分もパイプ換算として)







16) 10月19日(水) 草木の整理・処分、

イヌザクラ広場及び周辺の草木の整理、東谷戸の草刈り、キラリ町田祭の準備、落花生畑の後を耕運機で耕す。

17) 10月22日(土)稲刈り 東谷戸の田んぼ 稲作体験参加者2家族7名、マウンテンバイク友の会2名 はざかけに使用したパイプ本数:48本







18) 10月26日(水) 小麦の種まき、イベントで配る竹炭の準備



←小山田緑地入口付近の木々 なんとなく角の生えた顔 に見えて仕方ない。

掘り忘れジャガイモを植えてみる→



19) 10月27日(木)脱穀





写真 H. 中尾

- 20) 10月29日(土)古代米の稲刈り、はざかけ道具(パイプ・足)の片づけ、真竹の調達(キラリ町田の準備)、竹炭の袋詰め、雀ぽっち作り
- 21) 11月2日(水)サツマイモのつるの整理、田んぼの水はけ整備&畔の補修、枝葉・下草・篠竹等の整理、キラリ町田祭の準備



サツマイモのつるの整理



枝葉・下草・篠竹等の整理



ハダカホオズキの実

22) 11月4日(金) 籾干し





写真 H. 中尾

23) 11月5日(土) 籾干し、籾摺り、藁ぽっち作り(準備)、藁切り(藁を裁断し田んぼに運ぶ)



籾干し 稲コウジ菌と藁の除去



藁を干す



干した藁の選別と、藁切り



籾摺り



藁ボッチの準備



作業に見学者の山ができた。

24) 11月6日(日) 籾摺りとキラリまちだ祭に分かれて活動 写真はキラリ町田祭







25) 11月9日(水)レンゲの種まき、カラムシの移植作業(カラムシ提供依頼をした団体による)











26) 11月12日(土)藁ぼっち作り、テビ作り、田んぼ下の池の周囲の草刈り、小麦畑周囲のネット張り 市役所イベントスタジオ展示の準備、富士見台下から三叉路までの中央通路の両側の草刈り

27) 11月18日(金) 東谷戸の脱穀・籾摺りと、イベントスタジオ展示準備













28) 11月19日(土)市役所イベントスタジオ展示用の雀ぽっちをミドリ米の藁を使って作成(2体) 料摺り後のミドリ米に混ざっている他品種の米の選別、イベントスタジオ展示の準備

29) 11月20日(日)植物調査







ツタの花

ニガクリタケ 猛毒

ツチアケビの種

11月21日(月)イベントスタジオ展示作業 30)













11月23日(水) 籾摺り、菜花の移植、ほだ場整理、サツマイモの収穫 31)













11月26日(土)燻炭作り、くずはき、藁ボッチの補修









真ん中に火を焚く

籾が中から燻炭に成る 燻炭を山状に整形

すべてが燻炭になった

H. 中尾

11月30日(水)燻炭作り、ソバの脱穀、真竹の整理(雪害により折れたり曲がった竹) 33)









12月2日(金)市役所イベントスタジオ展示の搬出 34)

12月3日(土)燻炭作り、田んぼへの切り藁撒き、お茶の木の剪定、菜花の移植 35)









36) 12月7日(水)里芋掘り、刈り取り済の下草の処理、稲わらの整理・処理、餅つき用道具作成・買い出し













種芋は地中に埋め保存する。

里芋の収穫量 親芋:約175 KG、子芋:約330 KG, 八つ頭:約21 KG 合計:約526 KG 土込みです。 37) 12月9,10,11日 餅つき、地域交流

9日 米とぎと買い出し

10日 本日の参加者:49名 会員参加者:MAX31名(含む本年度里山保全体験参加者5名) 北部丘陵整備課:1名(広瀬課長)稲作り体験参加者:6名(2家族大人4名子供2名) マウンテンバイク友の会:10名(7家族大人8名子供2名)一橋大学学生:1名 永井さんの早出により予定より早く水切り開始され解散も14時となった。

11日本日の参加者: 49名 会員参加者: MAX 29名(含む本年度里山保全体験参加者 2名) 地元の招待者: 8名(7家族大人8名)地元の方の参加: 4名(2家族大人2名子供2名) 稲作り体験参加者: 6名(2家族大人4名子供2名)マウンテンバイク友の会: 2名(1家族大人2名) 本日も永井さんの早出のお蔭で、餅つきの開始も早まり、時間的に余裕をもってスケジュールをこなす 事が出来ました











2日間でついた餅数:86臼(土曜56臼、日曜30臼)

2日間の使用米量 : 169KG (土曜:111KG,日曜:58KG 臼)

12日 あとかたずけ